



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 伊良湖岬観光協議会・レイ「のこレイね」……………3ページ
- 地域の話題(田原中部校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

田原市防災キャンプ

避難所宿泊体験

私たちがもし災害に遭い避難所生活をするようになったらどうなるでしょうか。

今回は、童浦小学校の防災キャンプの様子をお届けします。



広報サポーター 大久保ゆり

田原市防災キャンプ避難所宿泊体験は、子どもたちの防災意識を高め、子どもたちから家庭や地域へ、防災についての情報発信を行い、地域の防災力の向上を目的に行っています。

今年度は、福江・清田・泉・童浦・若戸・田原中部小学校の6校で行われました。



● 応急手当の訓練を受ける児童

童浦小学校では、初めに応急手当での訓練をしました。数人のグループに分かれ、消防署員から三角巾で



● 消防団員の補助を受けて三角巾を縛る児童

定でできずにいると、消防団の方が手を添えてくれるなど、地域みんなで協力して行っていました。

次に、電気のない生活体験をしました。災害時には電気や水道が使えなくなるかもしれません。ペットボトルに水を入れ、それをシャワーのように利用し、

患部を固定する方法や、患部を直接縛る直接圧迫止血法などを学びました。

子どもたちがうまく固

顔を洗いました。夜は、ホールの床に段ボールを敷いてエアコンを切って就寝し、朝は、アルファ化米とカップに入れたインスタントみそ汁を朝食として食べました。

その後、自主防災会の方と、市民館の隣りにある備蓄倉庫の備品を見学し、発電機やハンマーなどを確認しました。飲料水兼用耐震性貯水槽からポンプを押し、水を出す体験もしました。



● ポンプを押し児童

キャンプ後の子どもたちに話を聞くと、「怪我をした人がいたら友達と協力して助けてあげたい」「夜寝る時は枕元に懐中電灯を置いて寝るようにするよ」などと頼もしい声があがりました。災害時に、彼らは自ら手当するなど、活躍してくれることでしょう。

担任の先生が、「避難所では多くの人が生活をしていて自分の思い通りになるとは限らない。相手の話を否定し

ないで大切に聞き、そのあと自分の考えを言うことが大切なんだよ」とおっしゃっていました。子どもだけでなく、私たちも心に留めておきたいことですね。

● 若戸小学校の防災キャンプの様子は、4頁の地域の話題でご紹介します。

投稿 中山保育園 老人福祉施設慰問

毎年、12月に老人福祉施設の慰問を行っています。生活発表会の踊りを披露したほか、お年寄りの方に肩たたきをしたり、プレゼントを渡したりしました。汗をかきながら一生懸命肩をたたいていると、お年寄りの方の中には涙を流して喜んで下さる方もいました。これからも続けていきたいです。



● 生活発表会の踊りを披露する園児